

労災情報たかやま (H31.3月号)

高山労働基準監督署
(安全衛生課)

平成31年2月末時点の労働災害発生状況について

主要産業の死傷者数

注1)カッコ内は死亡者数
注2)死傷者数は休業4日以上のもの

	平成31年		平成30年		対前年比 増減数		対前年比 死傷者数 増減率
	数	(死亡者数)	数	(死亡者数)	数	(死亡者数)	%
全産業	21	(2)	23	(2)	-2	(-2)	-8.7%
製造業	5	(0)	5	(0)	0	(0)	0%
建設業	2	(0)	3	(0)	-1	(-1)	-33.3%
運送業	2	(0)	2	(0)	0	(0)	0.0%
林業	1	(0)	1	(0)	0	(0)	0.0%
その他	11	(2)	12	(2)	-1	(-2)	-8.3%

平成31年2月末時点における 平成30年の労働災害発生状況について

主要産業の死傷者数

注1)カッコ内は死亡者数
注2)死傷者数は休業4日以上のもの

	平成30年 (速報値)		平成29年 (確定値)		対前年比 増減数		対前年比 死傷者数 増減率
	数	(死亡者数)	数	(死亡者数)	数	(死亡者数)	%
全産業	188	(4)	177	(4)	11	(0)	6.2%
製造業	46	(1)	39	(1)	7	(0)	17.9%
建設業	35	(1)	33	(1)	2	(0)	6.1%
運送業	13	(0)	13	(0)	0	(0)	0.0%
林業	29	(1)	15	(1)	14	(-1)	93.3%
その他	65	(2)	77	(1)	-12	(1)	-15.6%

コメント

平成31年2月末時点の労働災害による休業4日以上之死傷者数は21人と、前年同期に比べ2人の減少となりましたが、決して少ないと言える人数ではありません。新年度になると労働者の新規雇入れや異動等が考えられます。雇入れ時や職長の安全教育の確実な実施により、職場の安全確保をお願いします。

災害事例

災害発生状況

自動穴あけ加工機での木材の穴あけ加工作業中、穴あけ時に発生するおが粉を回収する集じん装置に道具を落としたため、機械の停止ボタンを押して集じん口に手を入れ、道具を取ろうとしたところ、集じん装置が動き出し、当該装置とダクトの上面の鉄板との間に指を挟まれたもの。

災害発生原因

機械操作を誤ったこと。被災者の押した停止ボタンは、次の穴あけ位置まで移動した後に停止するものであり、その場で停止させるためには、非常停止ボタンを押す必要があったもの。

再発防止対策

操作ボタンの特性について再教育を行うこと。
集じん口に、おが粉よりも大きい物が入らないような網、カバー等を設置すること。

